

問1 景気が後退している不況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調整するために行う「買いオペレーション（公開市場操作）」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 日本銀行が金融機関の保有する国債などを買い取り、世の中の通貨量を増やすこと | 2. 日本銀行が金融機関に国債などを売り、世の中の通貨量を減らすこと | 3. 日本銀行が直接企業に資金を貸し出し、新しい設備投資を強制すること | 4. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やすこと |
|--|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問2 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす際、一般の銀行（民間金融機関）との間で行われる具体的な業務の説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。 | 2. 民間金融機関に代わって、所得税などの税金の収納や、年金の支払いといった国の事務を行う。 | 3. 民間金融機関からの依頼を受けて、新しい一万円札や五千円札などの日本銀行券を発行する。 | 4. 民間金融機関が倒産しないよう、一般の個人や企業に対して日本銀行が直接融資を行う。 |
|---|--|---|---|

問3 日本銀行の組織や業務内容を整理した資料において、日本銀行が担う「発券銀行」「銀行の銀行」に並ぶ第3の役割について、その具体的な業務内容の説明としてふさわしいものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 所得税などの国庫金を取り扱い、国債の発行や管理など国の資金を管理する。 | 2. 一般の銀行に対して資金を貸し出し、銀行間の決済を円滑にする。 | 3. 日本銀行券を発行し、世の中に流通する通貨の量を調節する景気対策を行う。 | 4. 一般市民や民間企業からの預金を受け入れ、住宅ローンなどの融資を行う。 |
|--|-----------------------------------|--|---------------------------------------|

問4 現代の経済において、銀行などの金融機関に預けられている「預金」が、紙幣や硬貨といった現金とともに「通貨」として扱われる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. キャッシュレス決済や口座振替などを通じ、現物を使わずに代金の支払いに利用できるため | 2. 国債や地方債と同様に、政府が発行して市場の通貨量を直接的に調整する役割を担っているため | 3. 日本銀行のみが発行を許されており、その価値が金（ゴールド）の保有量と常に連動しているため | 4. 株式と同様に、企業に資金を提供することで利益の配当を得るための投資手段として特化しているため |
|--|--|---|---|

問5 ある商店において、10kgの米に3,000円、バナナ1本に30円という値札が付けられている状況を想定します。このように、貨幣（お金）を用いて、性質の異なる様々な財やサービスの価値を「円」という共通の単位で数値化し、それらの価値を容易に比較できるようにする貨幣の働きを何といいますか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 価値の尺度 | 2. 支払手段 | 3. 蓄蔵手段 | 4. 交換手段 |
|----------|---------|---------|---------|

問6 あるパン屋において、これまで1,000円で8個買うことができたパンが、社会全体の物価上昇の影響を受けて1個あたりの価格が2倍になったとします。このとき、同じ1,000円で買うことができるパンの個数と、お金の価値の変化について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。 | 2. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は上昇した。 | 3. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は下落した。 | 4. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は上昇した。 |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|

問7 日本銀行が不景気の際に「買いオペレーション」を行う目的と、その仕組みとして正しい説明はどれですか。（2017年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 市場に流通する通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、景気を上向かせるため | 2. 市場から通貨を回収することで、急激な物価の上昇（インフレーション）を抑制するため | 3. 政府の借金である国債をすべて買い取ることで、国の財政赤字を解消するため | 4. 銀行の保有する資金を減らすことで、過度な設備投資を抑え、景気を安定させるため |
|--|---|--|---|

問8 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。 | 2. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。 | 3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。 | 4. 日本政府が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が金融機関の保有する国債などを買い取り、世の中の通貨量を増やすこと	不況の際には、日本銀行が市中の金融機関（銀行など）が持っている国債を買い取ります。その代金が金融機関に支払われることで、民間に出回る通貨量が増加します。これにより、企業や個人がお金を借りやすい状況を作り、景気を刺激しようとします。
問2	答え 1 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。	日本銀行は、一般の銀行が一時的な資金不足に陥った際に「資金の貸し出し」を行ったり、各銀行が余剰資金を預けるための「預金の受け入れ」口座を提供したりします。これにより、民間金融機関同士のお金のやり取り（決済）がスムーズに進むよう調整しています。国の事務を行うのは「政府の銀行」、紙幣を発行するのは「発券銀行」としての役割であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 所得税などの国庫金を取り扱い、国債の発行や管理など国の資金を管理する。	日本銀行の3つの役割のうち「政府の銀行」としての業務を説明したものです。日本銀行は政府の預金口座を管理しており、国民が納めた税金の受け入れや公共事業費の支払い、さらには国の借金である国債の発行実務などを担当しています。これにより、国の財政活動が円滑に行われるよう支える仕組みとなっています。
問4	答え 1 キャッシュレス決済や口座振替などを通じ、現物を使わずに代金の支払いに利用できるため	通貨とは、商品の売買やサービスの対価として、支払いに使える手段を指します。預金は、銀行の口座間で数値を移動させる「振り込み」や、スマートフォンの決済アプリ、クレジットカードなどの決済手段を通じて、現金そのものを介さずに支払いを行うことができます。このように、現金と同等の支払い能力を持っているため、通貨の重要な構成要素と見なされます。
問5	答え 1 価値の尺度	貨幣には主に3つの機能がありますが、商品の価値を「価格」として表示し、ものさしのように測る役割を「価値の尺度」と呼びます。この機能があることで、米とバナナのように全く異なる商品であっても、どちらがどれだけ価値が高いかを共通の数値で比較することが可能になります。選択肢にある「支払手段」は代金を支払う機能、「蓄蔵手段」は価値を蓄えておく機能を指します。
問6	答え 1 パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。	物価が2倍になると、1,000円という同じ金額で手に入れられる商品の量は半分（この場合は8個から4個）に減少します。このように、同じ金額を支払っても以前より少ない量の商品しか買えなくなる状態は、お金が持っている「物を買う力（購買力）」が弱まったことを意味するため、お金の価値は下落したと判断します。
問7	答え 1 市場に流通する通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、景気を上向かせるため	買いオペレーションは、日本銀行が代金を支払って国債を買い上げることで、市場（民間金融機関）に資金を供給する仕組みです。市場の通貨量が増えると金利が下がり、企業や個人が銀行からお金を借りやすくなります。その結果、設備投資や消費が刺激され、停滞している景気を上向かせる効果が期待されます。
問8	答え 1 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気時に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネーストック）の供給が絞り込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気時に行われる「買いオペレーション」の説明です。